



第 87 期
報 告 書

(令和 4 年 3 月 1 日から
令和 5 年 2 月 28 日まで)

岡谷鋼機株式會社

証券コード 7485

株 主 の 皆 様 へ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第87期（令和4年3月1日から令和5年2月28日まで）につきまして、ここに営業の概況等をご報告申し上げます。

令和5年5月

代表取締役社長

岡 谷 健 広



営 業 の 概 況

◆ 営業の経過及び成果

当連結会計年度における世界経済は、地政学リスクの顕在化や中国のゼロコロナ政策による影響の一方、コロナ禍からの経済活動の正常化が進み、堅調に推移しました。日本経済は、サプライチェーンの混乱等により製造業の生産活動の回復にやや遅れがあるものの、底堅く推移しました。

このような環境において、連結売上高は9,620億円となりました。

損益につきましては、営業利益は294億48百万円(前期比29.6%増)、経常利益は325億68百万円(前期比16.2%増)となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は235億20百万円で、前期比21.7%の増益となりました。

当期において、光洋マテリア株式会社の子会社化及び新エフエイコム株式会社の設立により、事業の拡大と機能の強化を図りました。

また、海外でも北米地区での新たなビジネスの構築を行うため、米国岡谷鋼機会社デトロイト事務所を開設しました。

営業の概況

◆ 経営環境及び対処すべき課題

今後の見通しにつきましては、世界情勢やエネルギー・素材価格の動向、金利・為替の変動等による経済への影響が懸念され、先行き不透明な状況が予想されます。

これを事業のセグメント別に見ますと、次のとおりであります。

(鉄鋼)

建材関連や製造業向けに堅調な需要が見込まれますが、市況の変動や海外情勢の動向が懸念されます。

(情報・電機)

半導体の供給問題が徐々に解消し、PC及び車載関連の需要が見込まれますが、サプライチェーンの正常化に時間を要することが予想されます。

(産業資材)

自動車の生産動向が懸念されますが、部品、樹脂原料等の需要の増加が見込まれます。

(生活産業)

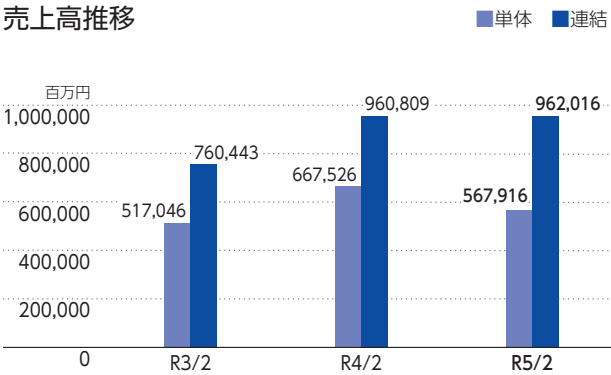
建築費や資材の高騰による建設需要への影響が懸念されますが、食品需要の増加が見込まれます。

このような経営環境において、岡谷鋼機グループは「ものづくりに貢献するグローバル最適調達パートナー」として、中期経営計画GIC 2025の基本方針の下、新たな価値の提供に挑戦し、世界の産業と地域の持続的発展に貢献してまいります。

また、内部統制の強化・コンプライアンスの徹底と企業の社会的責任を重視し、企業価値の更なる向上に努めてまいります。

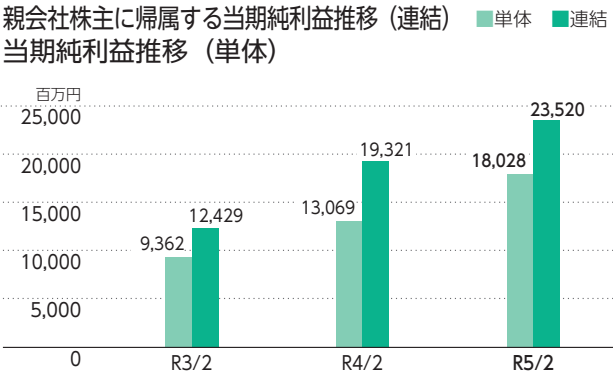
財務ハイライト

売上高推移

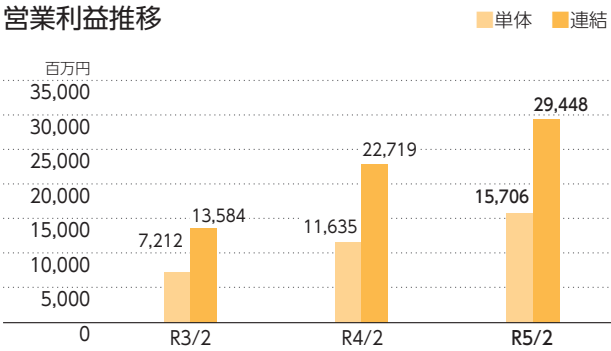


(注) 令和5年2月期の期首より、「収益認識に関する会計基準」を適用しております。

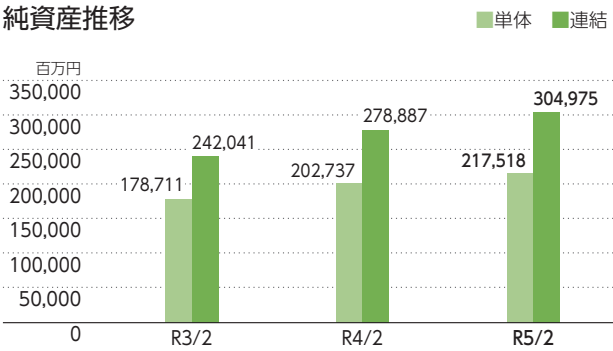
親会社株主に帰属する当期純利益推移 (連結) 当期純利益推移 (単体)



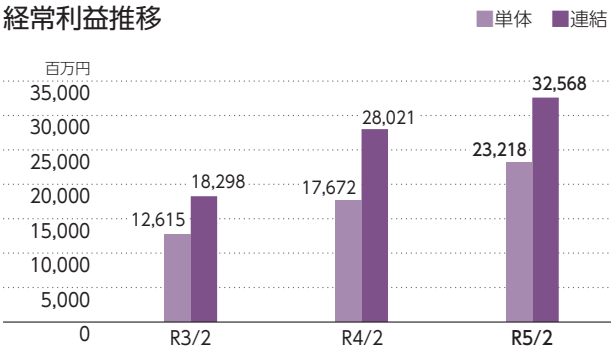
営業利益推移



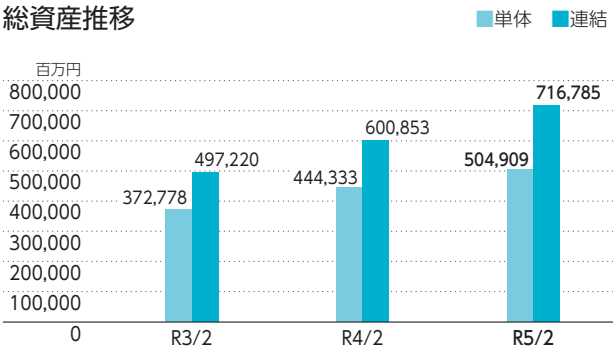
純資産推移



経常利益推移



総資産推移



トピックス

1. 新事業推進部を新設

令和4年3月に、メカトロ本部の下部組織として新事業推進部を新設しました。工場内物流の省人化・自動化等を軸に、デジタル技術を活用した新たなビジネス創出に取り組んでいます。

2. 健康経営優良法人2022に認定

令和4年3月に昨年度に引続き「健康経営優良法人2022（大規模法人部門）」に認定されました。併せて、グループ会社21社がそれぞれ大規模、中小規模法人部門に認定されました。

3. 米国岡谷鋼機会社がデトロイト事務所を開設

令和4年10月に、米国岡谷鋼機会社はデトロイト事務所を開設しました。自動車業界を取り巻く環境が大きく変化する中、北米全域での取引拡大を目指します。



4. 新エフエイコム株式会社が営業を開始

令和4年12月に、新エフエイコム株式会社が営業を開始しました。設計・開発機能を含むデジタル分野を一層強化し、製造業やロジスティクスの自動化・DX化に貢献していきます。



6. 岡谷富船第2物流センターが竣工

令和5年1月に、岡谷富船第2物流センターが竣工しました。太陽光パネルを設置するなど環境配慮型の建物であり、地域の物流拠点として発展させていきます。



5. 光洋マテリア株式会社株式取得(子会社化)

令和5年1月に、光洋マテリア株式会社を子会社化しました。今後成長が見込まれる非鉄金属市場において、さらなる事業拡大を目指します。



7. 義援金寄付

国内外グループ会社とともに、ウクライナ情勢、令和4年7月大雨災害、令和4年8月豪雨災害、トルコ・シリア地震による被災者に対し、それぞれ義援金を寄付しました。

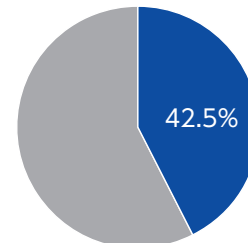
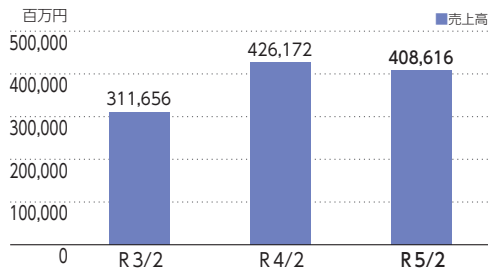
セグメント情報

鉄 鋼



(取扱品目)

鉄屑、棒鋼、鋼矢板、H型鋼、鋼板、鋼管、機械構造用炭素鋼、合金鋼、軸受鋼、工具鋼、ステンレス鋼 他



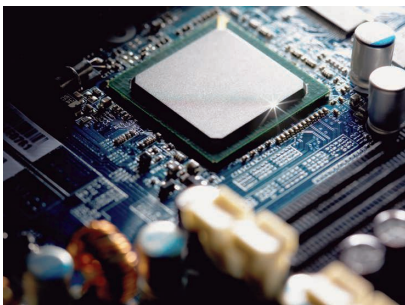
鉄鋼部門は、鋼材価格の上昇に加え、建材関連や製造業向けを中心に増加しました。

特殊鋼部門は、産機・工作機械向けが増加しました。

海外は、鋼材価格の上昇に加え、欧米・アジア向けが好調でした。

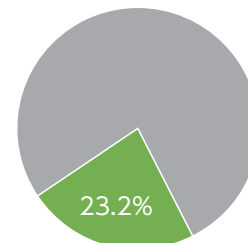
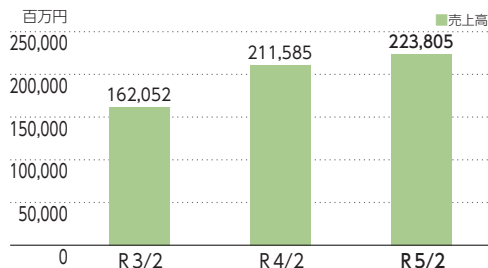
鉄鋼セグメントの売上高は、4,086億円となりました。

情報・電機



(取扱品目)

銅・アルミ、レアアース、電子部材、汎用電機品、映像機器、半導体・周辺電子部品、ソフトウェア開発・販売 他



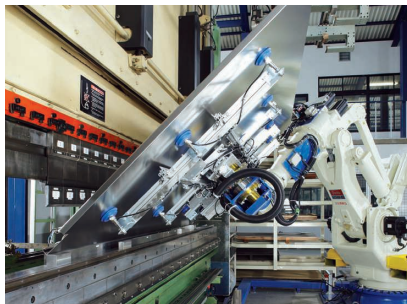
エレクトロニクス部門は、FA、PC及び車載関連が順調に推移しました。

非鉄金属部門は、銅・アルミ価格の上昇により、車載・産機向け電子部品用材料が増加しました。

情報・電機セグメントの売上高は、2,238億円となりました。

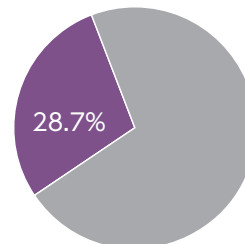
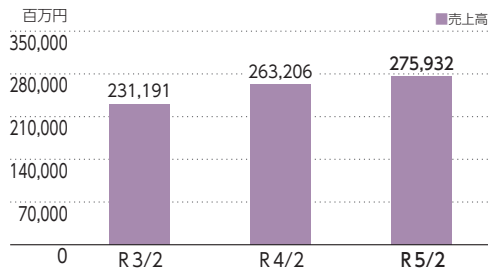
(注) 令和5年2月期の期首より、「収益認識に関する会計基準」を適用しております。

産業資材



(取扱品目)

工作機械、工具、産業用ロボット、環境・リサイクル対応設備、半導体・電子関連設備機器、航空機部材、自動車部品、合成樹脂原料、樹脂成形品 他



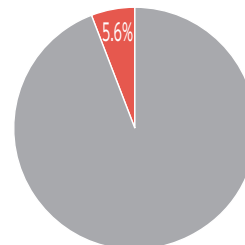
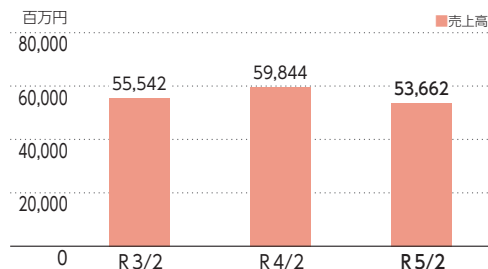
メカトロ部門は、車載関連及び航空機向け部材が好調でした。
 化成品部門は、原材料価格の上昇に加え、国内外の自動車関連が順調に推移しました。
 産業資材セグメントの売上高は、2,759億円となりました。

生活産業



(取扱品目)

配管資材、住設機器、住宅用資材、不動産開発、分譲マンション、水産物、畜産物、倉庫業 他



配管建設部門は、分譲マンションの販売が減少しましたが、配管資材が増加しました。
 食品部門は、水産物の輸入取引が好調でした。
 生活産業セグメントの売上高は、536億円となりました。

(注) 令和5年2月期の期首より、「収益認識に関する会計基準」を適用しております。

連結財務諸表

連結貸借対照表（要旨）

(単位：百万円)

連結損益計算書（要旨）

(単位：百万円)

科 目	当 期 (令和5年2月28日現在)	前 期 (令和4年2月28日現在)	科 目	当 期 (令和4年3月1日から 令和5年2月28日まで)	前 期 (令和3年3月1日から 令和4年2月28日まで)
資 産 の 部			売上高	962,016	960,809
流動資産	466,615	355,947	売上原価	885,949	895,218
固定資産	250,170	244,905	売上総利益	76,067	65,591
有形固定資産	58,866	53,907	販売費及び一般管理費	46,618	42,872
無形固定資産	2,885	2,182	営業利益	29,448	22,719
投資その他の資産	188,418	188,815	営業外収益	7,784	8,055
資産合計	716,785	600,853	営業外費用	4,665	2,753
負 債 の 部			経常利益	32,568	28,021
流動負債	351,644	260,224	特別利益	4,231	371
固定負債	60,166	61,741	特別損失	2,037	420
負債合計	411,810	321,965	税金等調整前当期純利益	34,762	27,972
純 資 産 の 部			法人税、住民税及び事業税	10,022	7,881
株主資本	207,593	186,394	法人税等調整額	259	61
資本金	9,128	9,128	当期純利益	24,480	20,029
資本剰余金	7,805	7,801	非支配株主に帰属する当期純利益	959	708
利益剰余金	191,174	169,965	親会社株主に帰属する当期純利益	23,520	19,321
自己株式	△ 515	△ 500			
その他の包括利益累計額	80,879	80,885			
その他有価証券評価差額金	71,321	72,377			
繰延ヘッジ損益	250	94			
為替換算調整勘定	5,474	1,386			
退職給付に係る調整累計額	3,832	7,028			
非支配株主持分	16,502	11,607			
純資産合計	304,975	278,887			
負債純資産合計	716,785	600,853			

(注) 令和5年2月期の期首より、「収益認識に関する会計基準」を適用しております。

(単位：百万円)

連結株主資本等変動計算書（要旨）

当 期 (令和 4 年 3 月 1 日から 令和 5 年 2 月 28 日まで)	株主資本					その他の包括利益累計額						非支配 株主持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証 券評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付に係 る調整累計額	その他の包括 利益累計額合計			
令和 4 年 3 月 1 日残高	9,128	7,801	169,965	△ 500	186,394	72,377	94	1,386	7,028	80,885	11,607	278,887	
当期の変動額													
剰余金の配当			△ 2,311		△ 2,311					－		△ 2,311	
親会社株主に帰属する当期純利益			23,520		23,520					－		23,520	
自己株式の取得				△ 1	△ 1					－		△ 1	
持分変動に伴う自己株式の増減				△ 13	△ 13					－		△ 13	
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		4			4					－		4	
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					－	△ 1,055	156	4,088	△ 3,195	△ 5	4,894	4,888	
当期の変動額合計	－	4	21,209	△ 14	21,198	△ 1,055	156	4,088	△ 3,195	△ 5	4,894	26,087	
令和 5 年 2 月 28 日残高	9,128	7,805	191,174	△ 515	207,593	71,321	250	5,474	3,832	80,879	16,502	304,975	

(注) 記載金額については、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

単体財務諸表

単体貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当 期 (令和5年2月28日現在)	前 期 (令和4年2月28日現在)
資 産 の 部		
流動資産	284,657	231,594
固定資産	220,252	212,739
有形固定資産	40,846	38,284
無形固定資産	475	612
投資その他の資産	178,931	173,842
資産合計	504,909	444,333
負 債 の 部		
流動負債	235,815	188,520
固定負債	51,576	53,075
負債合計	287,391	241,595
純 資 産 の 部		
株主資本	147,061	131,345
資本金	9,128	9,128
資本剰余金	7,798	7,798
利益剰余金	130,589	114,873
自己株式	△ 455	△ 454
評価・換算差額等	70,457	71,391
その他有価証券評価差額金	70,203	71,286
繰延ヘッジ損益	253	105
純資産合計	217,518	202,737
負債純資産合計	504,909	444,333

単体損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当 期 (令和4年3月1日から 令和5年2月28日まで)	前 期 (令和3年3月1日から 令和4年2月28日まで)
売上高	567,916	667,526
売上原価	533,753	637,618
売上総利益	34,163	29,907
販売費及び一般管理費	18,457	18,272
営業利益	15,706	11,635
営業外収益	9,779	7,839
営業外費用	2,266	1,802
経常利益	23,218	17,672
特別利益	1,289	113
特別損失	152	32
税引前当期純利益	24,355	17,753
法人税、住民税及び事業税	5,761	4,385
法人税等調整額	565	299
当期純利益	18,028	13,069

（注）令和5年2月期の期首より、「収益認識に関する会計基準」を適用しております。
（単位：百万円）

単体株主資本等変動計算書（要旨）

当 期 (令和 4 年 3 月 1 日から 令和 5 年 2 月 28 日まで)	株主資本					評価・換算差額等			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計	
令和 4 年 3 月 1 日残高	9,128	7,798	114,873	△ 454	131,345	71,286	105	71,391	202,737
当期の変動額									
剰余金の配当			△ 2,311		△ 2,311			-	△ 2,311
当期純利益			18,028		18,028			-	18,028
自己株式の取得				△ 1	△ 1			-	△ 1
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					-	△ 1,082	148	△ 934	△ 934
当期の変動額合計	-	-	15,716	△ 1	15,715	△ 1,082	148	△ 934	14,780
令和 5 年 2 月 28 日残高	9,128	7,798	130,589	△ 455	147,061	70,203	253	70,457	217,518

（注）記載金額については、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

岡谷鋼機のCSR－経営的側面－

当社は、世界市場の中で、ものづくりに貢献する活動を通じて、あらゆるステークホルダーに受け容れられる企業であり続けたいと考えます。地球市民としての自覚を持ち、地球環境に配慮した視点で、『グローバル最適調達パートナー』としての総合力を発揮することにより社会的責任を果たし、持続的発展を目指してまいります。

◆ 当社のCSRに対する基本的な考え方

1. 持続可能な成長を目指し、社会的責任を果たすとともに、経営品質の継続的改善、内部統制の充実・強化に努めることにより、企業価値を高める。
2. 株主に対して、最大限の還元を行うべく努力する。
3. 国の内外を問わず人権を尊重し、関係法令、国際ルールおよびその精神を遵守する。
4. 岡谷鋼機グループ環境方針に則り、自主的、積極的に行動する。
5. 社員に対して、公正な処遇を実施し、多様な自己啓発の機会を提供する。
6. 良き地球市民として、地域および社会に対し貢献活動を行う。

※これらの内容は「企業行動憲章」にも記載されております。全文は当社ホームページをご参照ください。[\(https://www.okaya.co.jp/\)](https://www.okaya.co.jp/)

◆ 当社のCSRのルーツ

天保7年（1836年）秋、6代惣助は笹屋の経営方針および日常の心得として「店則」「家則」などを掲げ、さらに毎朝就業前に全員で唱和する「日誦五則^{にっしょうごそく}」を定め、実践しました。これらは、現代におけるCSRの精神に相通じるものであり、笹屋の店員としての業務・営業姿勢を方向付け、商いの繁栄に寄与したと考えられております。

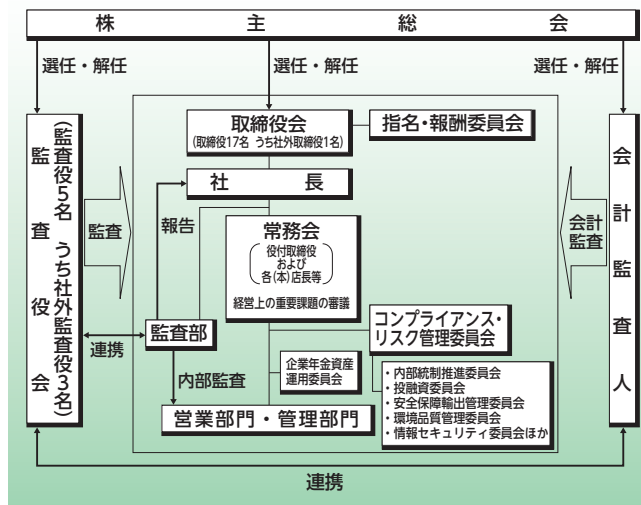
岡谷鋼機のCSR－経営的側面－

◆ コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

当社は、商社としての社会的責任を自覚し、コーポレート・ガバナンス、コンプライアンスおよびリスク管理を経営の重要な課題と位置付けております。社員一人一人の行動が、当社への信頼を生み出し持続的な成長をもたらす重要な要素と認識し、より高い倫理観に根ざした事業活動を行う企業風土の構築を目指しております。

また、課題達成のためのインフラとして内部統制システムを位置付け、継続的に充実・強化を図っております。

【コーポレート・ガバナンス体制図】



◆ 経営品質の向上について

「サービス品質」の向上を図りお客様のご要望、ご期待に応えるべく、当社では品質方針を掲げ品質マネジメントシステムを全社システムとして構築し、ISO9001の認証を取得しております。今後とも品質マネジメントシステムの運用を通じて、「サービス品質」および「業務品質」を向上させ、さらには「経営品質」を高めてまいります。

◆ コンプライアンスについて

社内にコンプライアンス・リスク管理委員会を設け、コンプライアンスの徹底と実践に努めております。また、社会から信頼される企業であり続けるために法令遵守と企業倫理について具体的に記載した「コンプライアンスマニュアル」を作成し、全社員に配布するとともに、各種講習会を開催し、法令遵守に努めております。

岡谷鋼機のCSR—社会的側面—

〔社員とともに〕

◆ 女性の活躍推進への取組

平成29年1月に名古屋市より、「子育て支援企業」（子育てにやさしい活動に取り組んでいる企業）、および「女性の活躍推進企業」（女性の活躍推進に取り組んでいる企業）のダブル認定を受けております。

◆ SDGsへの取組み

持続可能な社会の実現に貢献するため、環境技術を活用した金属資源の再利用やフードバンクへの食糧品寄付・ボランティア活動等を行っております。

〔地域とともに〕

◆ 三重県紀宝町でのボランティア

平成25年以降、浅里地区において田植えや稲刈りなどのボランティア活動を行っております。過疎化、高齢化が進む同地区と「農山村活性化の取組に関する協定書」を締結し、継続的な支援活動や交流を行っております。

◆ チャリティーコンサート開催

今回で10回目となるチャリティーコンサートを、感染対策を施したうえで約3年ぶりに有観客にて開催しました。なお、地域の社会福祉向上のため、社会福祉法人愛知県共同募金会へ寄付を行いました。



チャリティーコンサート

◆ 小学生サッカー大会「OKAYA CUP」協賛

令和元年度より社会貢献活動の一環として、小学生少年・少女サッカー大会を支援しています。愛知県、岐阜県、三重県大会及び東海大会へ協賛し、今期は特別授業にも協賛しました。



特別授業の様子

岡谷鋼機のCSR－環境的側面－

当社は、地球環境と事業活動との密接なかかわりをよく認識のうえ、地球環境の保全と経済社会の持続的な発展を常に念頭に置き、環境への取組みを進めております。

◆ 環境ISO14001認証の取得

当社は平成11年9月に環境宣言を行い、それ以降、岡谷鋼機グループ環境方針に沿って環境マネジメントシステムを構築し、環境保全活動に取り組んでおります。平成12年6月に審査登録機関LRQAの審査に合格し、環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証を取得しました。以降、引続きグループ会社を含め認証サイトを拡大しております。

【ISO14001グループ認証書】



◆ 継続的改善に向けて

当社では、環境品質管理規程に則り、PDCAサイクルによる活動を実施し継続的改善に取り組んでおります。

活動状況は、内部監査員による監査および外部審査機関による審査で毎年確認し、その結果を経営層に報告して見直し・改善を行います。

利益配分に関する基本方針および株主優待について

1. 配当政策

当社グループは、株主に対する利益還元を企業経営の重要政策の一つと考えており、競争力を維持・強化して株主資本の充実に努めつつ、配当を行うことを基本方針としております。

2. 株主優待

当期（令和5年2月期）株主優待として、期末保有株式数100株以上の株主様に、《愛知県産米 山の幻ミネアサヒ5kg》をお贈りいたします。

また、第2四半期末保有株式数200株以上の株主様に、《愛知県産米 山の幻ミネアサヒ5kg》をお贈りいたします。

なお、長期保有株主様向け優待として、半期毎（2月末および8月末）の最終株主名簿に同一株主番号で連続6回以上記載されていることを条件とし、保有株式数100株以上の株主様に《図書カード2,000円相当》をお贈りいたします。

発送は通常の株主優待とは別送になります。



会社概要 (令和5年2月28日現在)

会社概要

商号	岡谷鋼機株式会社 OKAYA & CO., LTD.
所在地	名古屋市中区栄二丁目4番18号
創業	寛文9年(1669年)
設立	昭和12年(1937年)
資本金	91億28百万円
事業	国内販売・輸出入貿易業・建設業・倉庫業・不動産業
就業人員	連結 5,554名 単体 668名
URL	https://www.okaya.co.jp/

役員

(令和5年5月25日現在)

代表取締役社長	岡谷 健 広
代表取締役専務	馬場 紀 彰
代表取締役専務	平野 隆 裕
代表取締役専務	坂田 光 徳
代表取締役専務	内田 和 輝
代表取締役専務	仲根 秀 樹
代表取締役専務	河村 元 志
代表取締役専務	佐藤 宏 昭
代表取締役専務	大笠 英 貴
代表取締役専務	犬井 雅 嗣
代表取締役専務	長崎 佳 孝
代表取締役専務	今林 良 視
代表取締役専務	松岡 宏 仁
代表取締役専務	岡谷 篤 一
代表取締役専務	水野 治 雄
代表取締役専務	島田 晴 良
代表取締役専務	山田 正 乃
代表取締役専務	大館 道 理
代表取締役専務	上田 純 子
代表取締役専務	小栗 宏 次
代表取締役専務	中川 由 賀

ネットワーク

1. 当 社

本社・名古屋本店	名古屋市中区栄二丁目4番18号
東京本店	東京都千代田区丸の内一丁目9番1号 (丸の内中央ビル)
大阪店	大阪市西区新町一丁目27番5号
国内支店	豊田、刈谷、安城、 北関東(小山市)、静岡、浜松、 北海道(苫小牧市)、東北(仙台市)、 新潟、北陸(富山市)、 中国(広島市)、九州(福岡市)

2. 関係会社等

国	内
(株)NaITO（東京都他）、岡谷マート(株)（東京都他）、岡谷エレクトロニクス(株)（横浜市他）、光洋マテリア(株)（名古屋市中）、岡谷鋼機九州(株)（福岡市中）、東海プレス工業(株)（愛知県弥富市）、中部合成樹脂工業(株)（愛知県豊川市中）、岡谷建材(株)（東京都他）、東海岡谷機材(株)（愛知県刈谷市中）、岡谷物流(株)（名古屋市中）、六合エレメック(株)（名古屋市中）、岡谷スチール(株)（名古屋市中）、岡谷機電(株)（名古屋市中）、(株)岡谷特殊鋼センター（愛知県丹羽郡） 他	
海	外

米国岡谷鋼機会社、カナダ岡谷鋼機会社、メキシコ岡谷鋼機会社、ブラジル岡谷鋼機会社、欧州岡谷鋼機会社(ドイツ他)、インド岡谷鋼機会社、タイ岡谷鋼機会社、サイアム スリヤ会社(タイ)、マレーシア岡谷鋼機会社、シンガポール岡谷鋼機会社、ベトナム岡谷鋼機会社、インドネシア岡谷鋼機会社、広州岡谷鋼機有限公司(中国)、香港岡谷鋼機有限公司(中国)、北京岡谷鋼機有限公司(中国)、上海岡谷鋼機有限公司(中国)、台湾岡谷鋼機有限公司、韓国岡谷鋼機会社、豪州岡谷鋼機会社、Poland Tokai Okaya Manufacturing Sp. z o.o.、Union Autoparts Manufacturing Co., Ltd.(タイ) 他

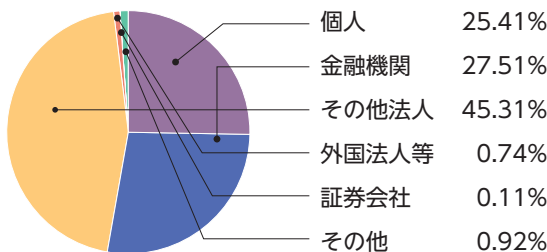
株式の状況 (令和5年2月28日現在)

株式の状況

株 式 数	
発行可能株式総数	35,571,200 株
発行済株式の総数	9,720,000 株
株 主 数	4,198 名

株式分布状況

所有者別割合



大株主の状況

株主名	持株数 千株	持株比率 %
岡谷不動産(株)	1,214	12.60
岡谷篤一	482	5.01
(株)三菱UFJ銀行	462	4.80
日本製鉄(株)	434	4.51
三井住友信託銀行(株)	402	4.17
(株)りそな銀行	265	2.75
損害保険ジャパン(株)	230	2.38
オークマ(株)	163	1.69
岡谷鋼機社員持株会	161	1.67
公益財団法人真照会	138	1.44

- (注) 1. 持株比率は自己株式 (87,181株) を控除して計算しております。
2. 公益財団法人真照会は、将来社会に貢献し得る人材を育成し、併せて学術・技芸の振興を図るために必要な奨学援助をなすことを目的として、大正6年に創設されました。

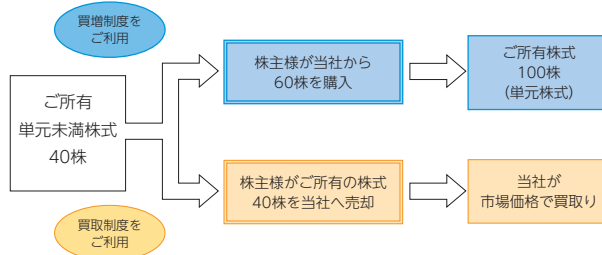
株式に関するお知らせ

単元未満株式の買取・買増請求について

当社の株式は1単元が100株となっており、単元未満株式 (1～99株) については市場での売買はできませんが、当社に対して買取請求 (売却)、または100株 (1単元) となるよう買増請求 (購入) をすることができます。お手続きの方法および用紙のご請求は、裏面記載の連絡先にお申し出ください。

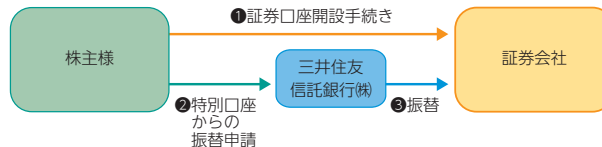
【単元未満株式買増・買取制度例】

○単元未満株式40株をご所有の株主様の場合



特別口座から証券会社の口座への振替申請について

特別口座*に記録されている株式については、特別口座のままでは売買できません (単元未満株式を除く)。様々なお手続きを円滑に行うためにも証券会社の口座への振替申請をお勧めします。



※特別口座
株券電子化前にほふり (株式会社証券保管振替機構) を利用されていなかった場合に、当該株式が記録される口座です。

株 主 メ モ

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会 5月
配当金支払株主確定日 期末配当 2月末日
中間配当 8月31日
公告の方法 電子公告
ただし、電子公告によることができない
やむを得ない事由が生じたときは、日本
経済新聞に掲載いたします。

電子公告掲載ホームページアドレス

https://www.okaya.co.jp/ir/public_notice/

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
連 絡 先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031（フリーダイヤル）
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の
全国本支店で行っております。

ホームページのご案内

岡谷鋼機のホームページでは、決算短信
等の詳しい財務データや各種IR情報を掲載
しています。
是非一度ご覧ください。



・岡谷鋼機ホームページアドレス
<https://www.okaya.co.jp/>

株式に関する手続きについて

株式に関する手続きは、①証券会社の口座に記録されている場合と、②特別口座に記録されている場合で、下記のとおり異なりますので、該当の窓口にお問い合わせください。

証券会社の口座に記録された株式	
お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
・単元未満株式の買取・買増請求 ・届出住所・姓名などのご変更 ・配当金の受領方法・振込先のご変更	口座を開設されている 証券会社
・郵送物の発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株式事務に関する一般的なお問い合わせ	三井住友信託銀行 株式会社証券代行部

特別口座に記録された株式	
お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
・単元未満株式の買取・買増請求 ・特別口座から証券口座への振替請求 ・届出住所・姓名などのご変更 ・配当金の受領方法・振込先のご変更	三井住友信託銀行 株式会社証券代行部
・郵送物の発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株式事務に関する一般的なお問い合わせ	

「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねて
おります。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。ただし、株式数比例配分
方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社にて行われます。確定申告
を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取の株主様につきましても、配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封
させていただきます。

確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。



岡谷鋼機株式会社



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



環境に配慮した
植物油インキを
使用しています。